

看護職員の需給に関する調査－2006年10月調査－（速報版）
補足資料

2007年1月17日

社団法人日本医師会

目 次

1. 調査の方法	2
2. 病院における看護師・准看護師の現状の配置状況	3
3. 入院基本料に係る施設基準の届出状況	5
4. 一般病棟における看護配置基準の見通し	9
5. 病床数の見通し	10
6. 病院における看護師・准看護師需要	12
7. 看護師・准看護師就業者数と卒業者数の推移	14
8. 看護師・准看護師不足のひとつの背景	15
まとめ	16

本稿は速報版であり、後日変更があり得る

1. 調査の方法

(1) 病院調査

調査対象 3,185 病院に対して、2006 年 11 月下旬に調査票を郵送した。調査対象病院の内訳と調査期日は以下のとおりである。

調査対象病院

公立、公的医療機関、社会保険関係団体、医育機関等 1,835 病院（全数）

日本医師会 A1 会員施設 1,350 病院（1/5 無作為抽出）

調査期日

医療機関のプロフィール（開設者、病床数）	2006 年 10 月 31 日
入院基本料等の算定状況、看護職員数	2006 年 10 月 31 日
1 日平均入院患者数	2006 年 10 月分

12 月末まで回答を受け付け、有効回答数は 2,091 病院、有効回答率は、65.7%（全国の病院の 2 割以上をカバー）となった。

(2) 看護学校養成所調査

全国 1,310 校の看護師・准看護師学校養成所に対して、2006 年 11 月下旬に調査票を郵送した。調査期日は、いずれの項目についても、2006 年 10 月 31 日現在の状況とした。12 月末まで回答を受け付け、有効回答数は 1,014 校、有効回答率は、77.4%となった。

2. 病院における看護師・准看護師の現状の配置状況

看護師・准看護師の需給を予測するため、現状の病床種別の配置状況を予測する。

(1) 1床当たり看護師・准看護師数

本調査（2006年10月調査）では、入院基本料等別の病床数および看護師・准看護師数を調査した。そこで、ここから病床区分（一般、精神、結核、療養）別に1床当たり看護師・准看護師数を計算した（表2）。また表2から、外来勤務看護師・准看護師数は、病棟勤務の17.1%と計算された。

(2) 全国の病床数

厚生労働省「医療施設動態調査（平成18年10月末概数）」を用いた。感染症病床は一般病床に含めた。

(3) 現状の看護師・准看護師の病棟・外来等配置状況

病床区分別1床当たり看護師・准看護師数に、病床数をかけて、現状の病床区分別看護師・准看護師数を求めた。外来勤務看護師・准看護師数は、病棟勤務の17.1%とした。

以上から、現在の病院勤務看護師・准看護師数は819千人、うち一般病床勤務486千人と推計された。なお、日本看護協会出版会「平成18年看護関係統計資料集」によれば2004年末の病院勤務看護師・准看護師数は791千人であった。

表1 病院における病床区分および外来別の看護師・准看護師数(推計)

	(1)1床当たり看護師・准看護師数(人)	(2)病床数(千床)	(3)看護師・准看護師数(千人)
	本調査より	厚労省「医療施設動態調査」より	①×②
一般病床	0.53	913	486
精神病床	0.33	352	115
結核病床	0.29	11	3
療養病床	0.27	350	96
病棟計	—	1,626	700
外来	病棟勤務の 17.1%		120
合計	—	—	819

表2 入院基本料・病床区分別 病床数および看護師・准看護師数(人)

看護職員数の回答のあったところのみを抽出

入院基本料等	病床区分	回答医療 機関数	届出 病床数(床)	看護師・准看護師数(人)		
				看護師数	准看護師数	計
一般病棟入院基本料(感染症病床を含む)	一般	1,542	289,362	134,674	11,224	145,898
療養病棟入院基本料(医療保険)	療養	635	33,484	5,070	4,493	9,563
結核病棟入院基本料	結核	83	3,997	944	136	1,080
精神病棟入院基本料	精神	321	44,655	10,529	4,751	15,280
特定機能病院 入院基本料	一般病棟	44	30,141	15,013	76	15,088
	結核病棟	6	92	90	0	90
	精神病棟	41	2,282	835	57	892
専門病院入院基本料	一般	9	3,443	2,007	9	2,016
障害者施設等入院基本料	一般	136	11,759	4,685	875	5,560
救命救急入院料	一般	102	2,534	4,080	23	4,103
特定集中治療室管理料	一般	219	1,620	5,155	14	5,169
ハイケアユニット入院医療管理料	一般	29	304	546	1	547
新生児特定集中治療室管理料	一般	107	803	1,809	4	1,813
総合周産期特定集中治療 室管理料	母体・胎児	27	163	361	6	367
	新生児	29	315	643	1	644
広範囲熱傷特定集中治療室医療管理料	一般	5	18	44	0	44
一類感染症患者入院医療管理料	一般	4	13	14	0	14
(再掲)特殊疾患入院医療管理料(病室単位のもの)	一般					
小児入院医療管理料(3は 再掲)	1	77	3,792	2,408	20	2,428
	2	65	2,562	1,452	42	1,494
	3					
回復期リハビリテーション病棟入院料	一般・療養	143	7,321	2,086	575	2,660
亜急性期入院医療管理料	一般	61	2,104	874	112	986
特殊疾患療養病棟入院料(病棟単位のもの)	一般	33	2,193	596	220	816
緩和ケア病棟入院料	一般	55	1,052	880	4	884
精神科救急入院科	精神	12	804	310	39	349
精神科急性期治療病棟入院科	精神	33	2,219	638	232	869
精神療養病棟入院科	精神	96	10,948	1,128	1,469	2,597
老人性認知症疾患治療病棟入院料	精神	45	2,780	316	433	749
介護療養病棟(介護保険)	療養	208	11,875	1,217	1,280	2,497
小計(医療機関数は実回答数)		2,047	472,635	198,403	26,095	224,498
外来				31,035	7,347	38,382

病床区分・外来別

病床 区分	回答医療 機関数	届出病床 数(床)	看護師・准看護師数(人)			1床当たり 看護師・准 看護師数
			看護師数	准看護師 数	計	
病棟	2,601	355,106	176,074	12,861	188,935	0.53
一般	548	63,688	13,756	6,980	20,737	0.33
精神	89	4,089	1,034	136	1,170	0.29
結核	929	49,752	7,539	6,118	13,656	0.27
療養	—	—	—	—	—	—
計	—	472,635	198,403	26,095	224,498	0.47
外来	—	—	31,035	7,347	38,382	—
合計	—	—	229,438	33,442	262,880	—

*回復期リハビリテーション病棟の一般病棟比率は40%とした

3. 入院基本料に係る施設基準の届出状況

(1) 病棟種類別の状況

一般病棟入院基本料

本調査の結果、一般病棟（特定機能病院を含む）における2006年10月末現在の「7対1入院基本料」構成比は、病院数で10.6%、届出病床数で13.1%であった（表3）。

中央社会保険医療協議会（以下、中医協）診療報酬改定結果検証部会（2006年7月12日）に提出された5月1日現在の「7対1入院基本料」構成比は、病院数で5.0%、届出病床数で6.9%であった。このペースで基準の引き上げが進めば、2006年度末には「7対1入院基本料」届出病床構成比は、約20%になると予測される。

なお、本調査では、特定機能病院については民間はすべて「10対1入院基本料」の病院からの回答であった。そのため特定機能病院の「7対1入院基本料」比率が低くなっている。

精神病棟入院基本料

中医協の5月1日現在の調査では、病院構成比で「15対1」64.5%、「18対1」12.4%、「20対1」15.5%などに分布していた。しかし10月末日現在の本調査結果では「15対1」に91.5%の病院が集約されていた。

表3 入院基本料に係る施設基準の届出状況

	本調査(2006年10月末時点)						中医協報告(2006年5月1日現在)					
	医療機関数		届出病床数		看護師・准看護師数		医療機関数		届出病床数			
	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比				
一般病棟入院基本料	1,461	100.0%	270,158	100.0%	135,788	100.0%	5,732	100.0%	723,484	100.0%		
7対1	157	10.7%	38,116	14.1%	23,856	17.6%	280	4.9%	44,831	6.2%		
10対1	747	51.1%	183,911	68.1%	92,430	68.1%	1,899	33.1%	410,315	56.7%		
13対1	252	17.2%	28,373	10.5%	12,115	8.9%	1,388	24.2%	145,523	20.1%		
15対1	259	17.7%	18,270	6.8%	6,908	5.1%	1,780	31.1%	108,527	15.0%		
特別	46	3.1%	1,488	0.6%	479	0.4%	385	6.7%	14,288	2.0%		
結核病棟入院基本料	68	100.0%	3,187	100.0%	975	100.0%	248	100.0%	9,720	100.0%		
7対1	3	4.4%	58	1.8%	27	2.8%	4	1.6%	80	0.8%		
10対1	15	22.1%	227	7.1%	94	9.6%	70	28.2%	999	10.3%		
13対1	6	8.8%	185	5.8%	52	5.3%	33	13.3%	439	4.5%		
15対1	44	64.7%	2,717	85.3%	802	82.3%	116	46.8%	7,077	72.8%		
18対1		0.0%		0.0%		0.0%	6	2.4%	425	4.4%		
20対1		0.0%		0.0%		0.0%	6	2.4%	177	1.8%		
特別入院基本料		0.0%		0.0%		0.0%	13	5.2%	523	5.4%		
精神病棟入院基本料	247	100.0%	33,273	100.0%	11,859	100.0%	1,396	100.0%	209,257	100.0%		
10対1	7	2.8%	307	0.9%	143	1.2%	8	0.6%	439	0.2%		
15対1	226	91.5%	31,120	93.5%	11,282	95.1%	900	64.5%	124,970	59.7%		
18対1		0.0%		0.0%		0.0%	173	12.4%	30,392	14.5%		
20対1		0.0%		0.0%		0.0%	216	15.5%	34,997	16.7%		
特別入院基本料	14	5.7%	1,846	5.5%	434	3.7%	99	7.1%	18,459	8.8%		
特定機能病院入院基本料(一般)	43	100.0%	29,337	100.0%	14,607	100.0%	78	100.0%	61,068	100.0%		
7対1	2	4.7%	1,202	4.1%	709	4.9%	11	14.1%	9,382	15.4%		
10対1	41	95.3%	28,135	95.9%	13,898	95.1%	67	85.9%	51,686	84.6%		
特定機能病院入院基本料(結核)	6	100.0%	92	100.0%	99	100.0%	13	100.0%	198	100.0%		
7対1		0.0%		0.0%		0.0%	0	0.0%	0	0.0%		
10対1	3	50.0%	36	39.1%	41	41.4%	10	76.9%	115	58.1%		
13対1		0.0%		0.0%		0.0%	0	0.0%	0	0.0%		
15対1	3	50.0%	56	60.9%	58	58.6%	3	23.1%	83	41.9%		
特定機能病院入院基本料(精神)	39	100.0%	2,185	100.0%	855	100.0%	74	100.0%	3,467	100.0%		
7対1		0.0%		0.0%		0.0%	2	2.7%	47	1.4%		
10対1	4	10.3%	574	26.3%	213	24.9%	8	10.8%	335	9.7%		
15対1	35	89.7%	1,611	73.7%	642	75.1%	64	86.5%	3,085	89.0%		
専門病院入院基本料	3	100.0%	1,255	100.0%	657	100.0%	16	100.0%	5,593	100.0%		
7対1		0.0%		0.0%		0.0%	4	25.0%	1,196	21.4%		
10対1	3	100.0%	1,255	100.0%	657	100.0%	11	68.8%	4,170	74.6%		
13対1		0.0%		0.0%		0.0%	1	6.3%	227	4.1%		
障害者施設等入院基本料	113	100.0%	10,045	100.0%	4,763	100.0%	516	100.0%	39,497	100.0%		
10対1	77	68.1%	7,449	74.2%	3,747	78.7%	245	47.5%	22,024	55.8%		
13対1	20	17.7%	1,455	14.5%	576	12.1%	159	30.8%	10,887	27.6%		
15対1	16	14.2%	1,141	11.4%	441	9.3%	112	21.7%	6,586	16.7%		

(再掲)

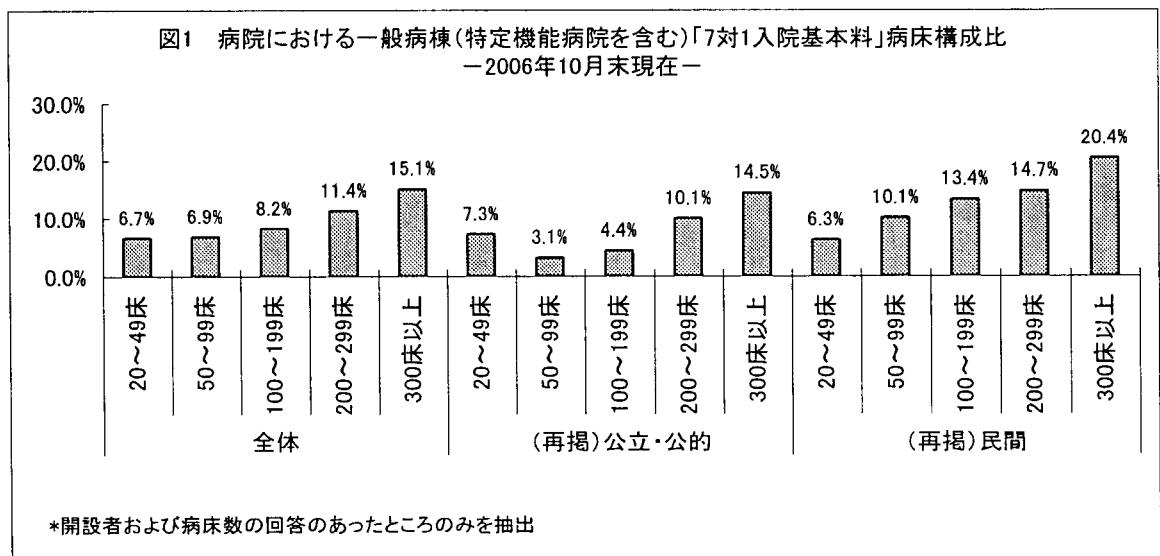
一般病棟入院基本料+ 特定機能病院入院基本料(一般病棟)	1,504	100.0%	299,495	100.0%	150,395	100.0%	5,810	100.0%	784,552	100.0%
7対1	159	10.6%	39,318	13.1%	24,565	16.3%	291	5.0%	54,213	6.9%
10対1	788	52.4%	212,046	70.8%	106,328	70.7%	1,966	33.8%	462,001	58.9%
13対1	252	16.8%	28,373	9.5%	12,115	8.1%	1,388	23.9%	145,523	18.5%
15対1	259	17.2%	18,270	6.1%	6,908	4.6%	1,780	30.6%	108,527	13.8%
特別	46	3.1%	1,488	0.5%	479	0.3%	385	6.6%	14,288	1.8%

(2) 一般病棟の病床規模別の状況

ここでは、病床数および開設者について回答のあった病院を抽出した。

看護配置基準は病床規模と高い相関が見られた。300床以上の病院においては、「7対1入院基本料」の届出を行っているのは、一般病棟（特定機能病院を含む）病床数の15.1%であった。

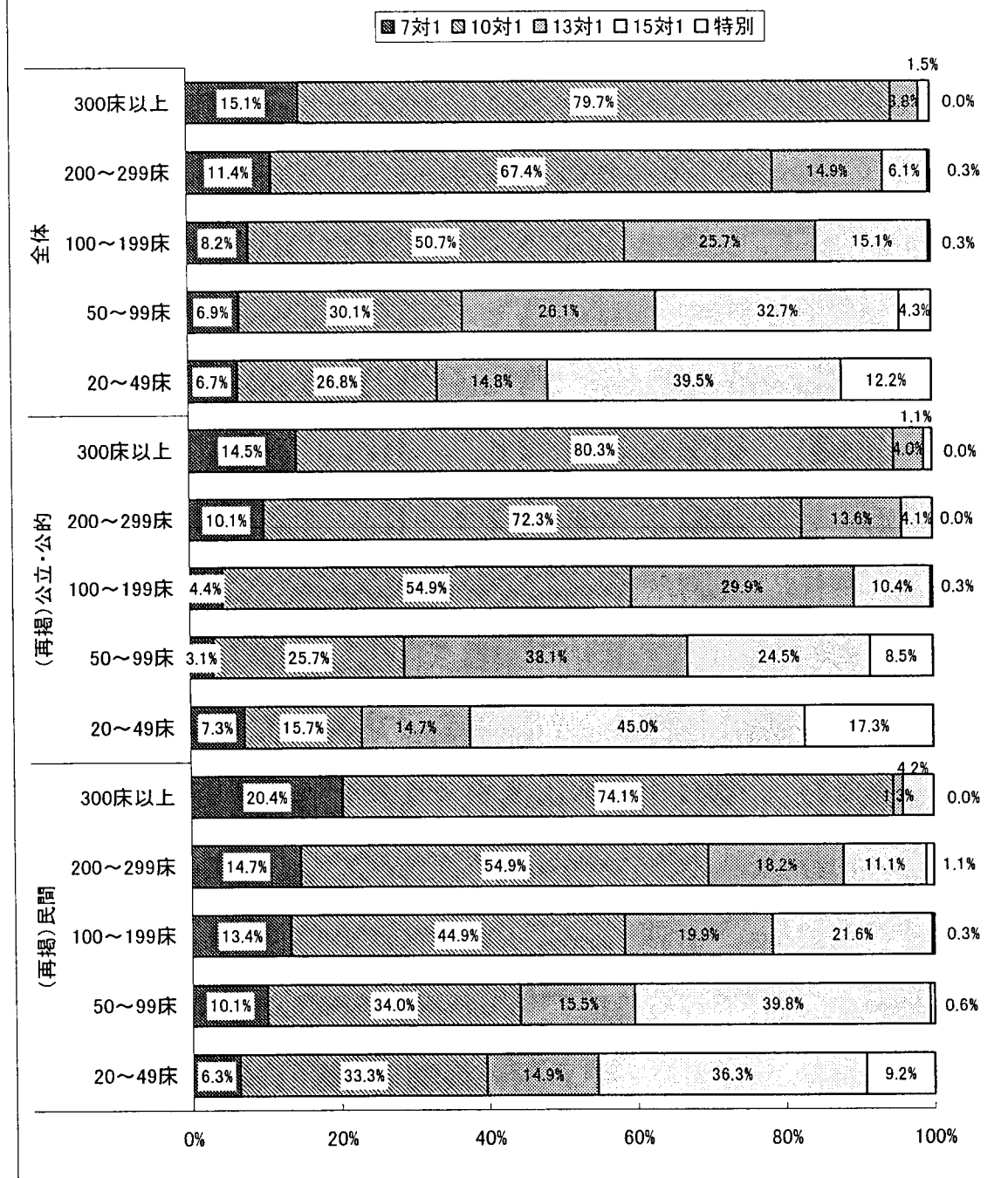
「7対1入院基本料」構成比がもっとも低いのは、公立・公的病院の50～99床であった。また100床未満の公立・公的病院（主として市町村立の病院）では、民間に比べて7対1および10対1を合わせた構成比が低く、13対1および15対1が多かった（図2）。



N数(病床数)

	病床規模(総病床数による区分)				
	20～49床	50～99床	100～199床	200～299床	300床以上
全体	4,472	15,422	41,959	36,168	201,280
(再掲)公立・公的	1,648	7,209	24,130	26,043	180,186
(再掲)民間	2,824	8,213	17,829	10,125	21,094

図2 病院における一般病棟(特定機能病院を含む)看護配置基準 病床構成比
 -2006年10月末現在-



4. 一般病棟における看護配置基準の見通し

2006年10月末現在で特別入院基本料を算定している一般病棟を除いて、当面の看護配置基準の平均値を求めた。300床以上の病院は、2009年度には平均8.1対1である(表4)。また、300床以上の病院では、2009年度には約6割の病床を「7対1入院基本料」にすることが予定されている(図3)。

一方、20~49床の病院では、2009年度においても平均11.3対1であった。

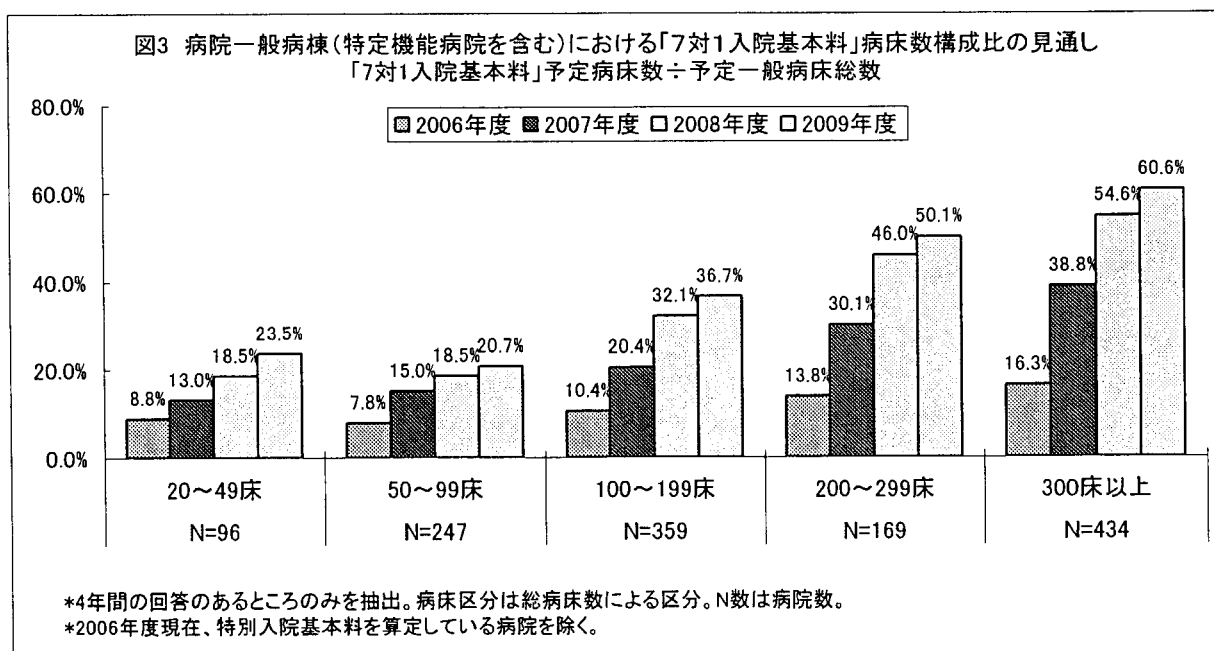
問題は、看護配置基準の引き上げが2008年度までの間に急激に実施される見通しであることである。

表4 病院 一般病棟(特定機能病院を含む)における看護配置基準の見通し

	回答医療 機関数	平均看護配置基準(○対1)			
		2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
20~49床	96	12.4	12.0	11.4	11.3
50~99床	247	12.3	11.7	11.3	11.1
100~199床	359	11.4	10.7	10.1	9.8
200~299床	169	10.5	9.7	9.2	9.0
300床以上	434	9.9	9.0	8.3	8.1

*病床区分は総病床数による区分

**2006年度現在、特別入院基本料を算定している病院を除く



5. 病床数の見通し

(1) 一般病床

病院の中には、病床数を削減することで、看護配置基準の引き上げを達成しようとしているところもある。そこで、看護配置基準達成のためだけに、全国ではいくらの病床数が削減されようとしているかを推計した。

まず、現状の一般病床数、今後の一般病床数の予定、今後の看護配置基準の予定のすべてに回答があった病院を抽出した。

これらの病院で予定されている一般病床数は、2006年10月末を100としたとき、公立・公的病院では、2007年4月99.6、2008年4月99.2、2009年4月99.2であった(表5)。民間病院では、2007年4月97.2、2008年4月97.1、2009年4月97.3であった。2008年から2009年にかけて増床に転じるのは、療養病床からの転床分があるためと推察される。

全国の病院における一般病床数は、2006年10月末時点で913千床であるので、これに本調査から得られた一般病床予定数を比例させる。その結果、全国の一般病床数は2008年4月には892千床と推計された。このままでは、2008年4月までの1年半で、一般病床は約2万床削減されることとなる(図4)。

表5 一般病床予定数

病床数の変化(本調査)

	回答医療 機関数	一般病床数の実績および予定(千床)			
		2006年10月末	2007年4月	2008年4月	2009年4月
公立・公的	824	212	212	211	211
民間	481	60	58	58	59

*現状および今後3年間の予定病床数、看護基準の予定の両方の回答がある医療機関を抽出した

2006年10月末を100とした時の病床数の変化

	回答医療 機関数	一般病床数の実績および予定			
		2006年10月末	2007年4月	2008年4月	2009年4月
公立・公的	824	100.0	99.6	99.2	99.2
民間	481	100.0	97.2	97.1	97.3

↓ 上記の傾向に比例させて計算

全国一般病床数の予測(全国換算)

	施設数	2006年10月末	2007年4月	2008年4月	2009年4月
公立・公的	1,766	284	283	282	282
民間	7,173	629	611	610	612
計	8,939	913	894	892	894

*2006年10月の病床数は、厚生労働省「医療施設動態調査(平成18年10月末概数)」より

*病院総病床数に占める一般病床の比率は、公立・公的も民間も同じとした

図4 病院における一般病床数の将来予測

